

ホジェン語テキスト分析—皮なめしと保存食の作成—

Four Texts of Hezhen— on tanning of deer and fish skins and on making preserves —

李 林静

Li Linjing

要旨 ホジェン語は母語話者数が危機的状況にあり、これまでの記述も極めて少ない。このような危機言語の記述にあたっては、散文や日常会話の記録を最優先すべきであろう。本稿では話者が50年前のホジェン族の生活について語ったテキストを聞き起こし、グロスをつけ、文法的な分析を行った。テキスト1は鹿の皮をなめす工程の説明である。なめし具の名称及び使い方、なめしの手順について語られている。テキスト2は鹿肉の保存食の作り方について語られている。テキスト3は魚皮をなめす工程の説明である。なめし具の名称及び使い方、なめしの手順について語られている。テキスト4は魚の保存食の作り方の話である。これらは、民族学的にも貴重な資料になりうると考えられる。

1. はじめに

ホジェン語は中国黒龍江省黒龍江、烏蘇里江、松花江流域に住むホジェン（赫哲）族の言語で、ツングース満州諸語に属すとみなされている¹。ホジェン族の1990年時の人口は4252人である。母語話者数は2001年の時点で19人である（徐2001）。これまで、ホジェン語についての言語学的な記述は極めてとぼしく、研究者間での食い違いも数多く見られる。

筆者の当面の研究目的は、ホジェン語の動詞構造及び文法の全体像を解明することである。現在はその基礎的な作業として、ホジェン語テキストの整理と活字化を進めており、本稿ではその一部を提示する。このテキストは、話者である尤金玉氏が20代の頃（約50年前）を中心に、ホジェン族の生活の様子を語ったものである。

ホジェン族の口承文芸研究は比較的早く、これまでに公刊されたホジェン語のデータも、口承文芸のテキストが中心である。しかし、韻文データでは、文法記述を行うには限界がある。したがって、散文や日常会話を記録することが重要である。しかも、母語話者数の危機的状況を考えれば、記述言語学の現場において、本稿のような理論的な分析に優先するテキストの記述が最急務の作業だと考えられている。

なお、本稿で紹介したテキストは、その内容から多くの民族学的な情報を含むものとなっている。これらの情報はいずれも日本国内ではほとんど紹介された例がなく、しかも当事者の言葉で書かれたものとなると皆無であろう。この点で、本稿は民族学研究にとっても大きな意義を有すると考える。

¹方言にはヘジェン方言とキーレン方言とがあり、筆者は現段階では主にキーレン方言の記述を行っている。本稿で取り扱う言語コンサルタントはキーレン方言の話者である。

2. コンサルタント紹介

本稿で紹介するテキストは2003年8月、2004年8月、2005年2月に、中国黒龍江省同江市街津口郷において、尤金玉氏が語った内容を筆者が録音したものである。尤氏は1935年に街津口の近くの哈魚に生まれた。幼少期に両親と死別し、祖母に育てられた。同じホジェンの女性と結婚し、現在も夫婦間でホジェン語による会話を交わすことが多い。ただし、奥さんの言葉との間に多少方言差があり、簡単な会話しかできないという。尤氏は漁や狩の経験が豊富で、夏漁、冬漁、魚皮なめし、魚の保存、獣皮なめし、獣肉の保存、免狩り、熊狩り、夏と冬の住居の建て方などについて語ってくれた。ここではその中から獣皮なめし、獣肉の保存、魚皮なめし、魚の保存を紹介する。

尤金玉氏は筆者からの調査の申し出に快く応じてくださり、長時間の作業にもかかわらず、熱心にホジェン語を教えてくださいました。ここに記して、深く感謝申し上げます。

3. 調査方法

調査方法としては、中国語や簡単なホジェン語で話題を出し、昔の経験をホジェン語で語ってもらった。また、同じ漁獵生活をしていたロシア領内のツングース系少数民族の民具を紹介した写真資料を見せ、ホジェン族の共通点などを聞き、ホジェン語で解説してもらった。中には中国語での解説もまざっているが、内容がホジェン語と重なる部分は本稿では提示していない。中国語の解説で、ホジェン語で語られていない部分は、内容を理解するにあたって必要と判断し、訳文を提示している。

4. 表記について

テキストの1行目は音韻表記による原文、2行目はグロス、3行目は日本語訳である。以下にホジェン語の音素目録を示す。

母音 : /a, i, u, e[ə], o[ɔ]/

子音 : /p, b, t, d, c[tʃ], j[dʒ], k, g, x, m, n, N[n̩], f, s, S[ʃ], r, l, y[j], w/

言い間違い、言いさし、言いよどみと思われる箇所は括弧でくくった。中国語で語られた部分は、ラテン文字に転写して斜体で示した。機能不明の成分は?で示す。一つの文が終わらず、また次の文が始まる場合は…でつなぐ。グロスに用いた略語は以下のとおりである。

1/2/3 : 1人称/2人称/3人称、sg. : 単数、pl. : 複数、定非 : 定動詞非過去形、形非 : 形動詞非過去形、過去 : 過去形、非人称 : 非人称形、副動 : 副動詞、否非 : 否定非過去形、反動 : 反動反復体、終 : 終助詞、疑 : 疑問詞、附属 : 附属詞²

² 附属詞は「=」で示す。現れる頻度の多い附属詞及びその意味は以下の通りである。

=de: 「～も」; =te, =ten, =tene: 「～は」; =ke, =ken: 形容詞や文末につき、強調を表す; =du, =de: 文をつなぐ機能を持ち、特に意味がない; =le: 条件副動詞形・ki の後に現れる頻度が高く、意味がない。

5. テキスト

5.1. 獣皮なめし³

5.1.1. あらすじ

まず、鹿の皮をナイフで裂いて剥ぐ。剥いでからナイフで皮についている油を削り落とす。それから皮をロープや棒の上にかけて干す。乾いたら水がめの中に浸けて、発酵した鹿の脳も一緒に入れる。鹿の脳を茶碗に入れて、蓋をしてから、暖かいところに置いて発酵させる。脳が液体になったら、皮を浸ける水の中に混ぜる。毛が落ちた皮を二人で揉む。それからクンクで叩く。三人で作業を行う。一人は皮を動かし、二人は交替でクンクで皮を叩いてなめす⁴。クンクで叩いてから、トゥチュン⁵を使って、皮の裏側についている薄い膜を削る。最後に、クドウルク⁶で揉む。これで出来上がり。

5.1.2. 分析

(1) kumake nase-we-ni kioto-ji xoxtile-uyi.

鹿 皮・対格・3sg. ナイフ・道具格 裂く・非人称
鹿の皮をナイフで裂く。

(2) kioto-ji xoxtile-re, nase-we-ni acu-uyi, xoi-uyi.

ナイフ・道具格 裂く・副動 皮・対格・3sg. 剥ぐ・非人称 削る・非人称
ナイフで裂いて皮を剥ぐ。

(3) xoi-medile imexse-we-ni kioto-ji fialo-uyi.

削る・副動 油・対格・3sg. ナイフ・道具格 削り落とす・非人称
剥いでからナイフで（皮についている）油を削り落とす。

(4) xoi-medile, maci orgi-uyi.

削る・副動 すこし 乾かす・非人称
削ってからすこし乾かす。

(5) orgi-m-du-yi=de xorkon tate-re=de ai,

乾かす・副動・与格・? = 附属 ロープ 引っ張る・副動 = 附属 よい
乾かすときに、ロープを引っ張ってもいいし、

(6) (mo-du mo) kilin bi-si mo-du nede-re, orgi-m,

まっすぐ ある・形非 木・与格 置く・副動 乾かす・副動
まっすぐな棒の上に置いて乾かして（もいい）、

³ 本テキストでは鹿の皮のなめし方が紹介されている。

⁴ 四本足のついたハイルグン（註 14 参照）の溝に一人が皮を置き、二人が向き合って長い柄のついた槌（クンク、ホジェン語名「kunku」）で交互に皮を叩く。クンク、ハイルグンという名称の物で実物で確認できているのは註 14 のようなものであり、ここでいうクンク、ハイルグンとは形状が異なる。名称や使う条件について区別があるかどうかは今後さらに調査を行う必要がある。

⁵ ホジェン語名「tucun」、皮なめし具の一種。鉄片と 30 センチほどの木の柄でできている。獣皮や魚の皮をグチク（註 13 を参照）やクンクでなめした後、皮の裏側についている薄い膜を削り落とすときに用いられる。魚皮なめしの際にも同じ工程で使われる。

⁶ ホジェン語名「kedeleku」、皮なめし具の一種。木製で、細長くて薄いへら状である。片縁にナイフで削られた歯がついている。獣皮なめしの最後の工程に用いられ、皮を揉んでやわらかくする働きを持っている。低い椅子に座って、皮を両足の上に置き、皮の片端を足で挟んで、片手で皮とクドウルクの一端を膝に固定し、もう片方の手でクドウルクの別の端を持ち、足から膝に向かって、弧を描くように皮を揉む。非常に力のいる仕事なので、主に男性がやるという。クドウルクを使わずに手で揉む人もいる。

- (7)ju jabkere Saxtu kilin kilin nem tate-uyi.
二 端 皆 まっすぐ まっすぐ して ひっぱる・非人称
両端を引っ張って、しっかりと伸ばす。
- (8)tate-re maci orku·kne⁷·m=du em sagdi sixan dulan·ni nede-re,
引っ張る・副動 少し 乾く・使役・副動=附属 一 大きい 水がめ 中・3sg. 置く・副動
引っ張って、少し乾かしてから、大きい水がめの中に入れる。
- (9)nian dili·ni kumake men dili·ji·n=de fixe·ji·n=de
彼 頭・3sg. 鹿 自分 頭・道具格・3sg.=附属 脳・道具格・3sg.=附属
鹿自身の脳を用いて(毛を抜く)、
- (10)nase-we dulan·ni nede·ki=le,
皮・対格 中・3sg. 置く・条件=附属
皮を(水がめの)中に入れたら、
- (11)ju carmi, em carmi teu-re, tim carmi dasi-re,
二 茶碗 一 茶碗 入れる・副動 その 茶碗 蓋する・副動
(脳を)一つの茶碗に入れて、もう一つの茶碗で蓋して、
- (12)ockoli da·ki·n=le muke=ke da·kne=du,
熱い なる・条件・3sg.=附属 水=附属 なる・使役=附属
熱くなったら(発酵したら)水になって、
- (13)sixan duSki man Saxtu daole-re nede-uyi.
水がめ 中 全部 みな 入れる・副動 置く・非人称
(それを)水がめの中に全部入れる。
- (14)nede-re berti=ke emedali muke...
置く・副動 とても=附属 同じ 水
置いて、まるで水のように...
- (15)fixe·ni, berti em ba·du man da·rgi-re,
脳・3sg. とても 一 ところ・与格 全部 なる・反動・副動
脳も(水も)全部一緒になって、
- (16)siangin da·ki·n, duSkin nede·ki=le ai da·rgi-re,
白い なる・条件・3sg. 中 置く・条件=附属 よい なる・反動・副動
(水も皮も)白くなって、中に置けば出来上がって、
- (17)ai da·rgi·ki·n=le, yaxte·n Saxtu tiki-re,
よい なる・反動・条件・3sg.=附属 毛・3sg. 皆 落ちる・副動
出来上がったら、毛も全部落ちてしまっ、
- (18)imexse·n=de tiki-re, ta·du nede·rgi-re, hai orgi-uyi,
油・3sg.=附属 落ちる・副動 そこ・与格 置く・反動・副動 また 乾かす・非人称
油も落ちて、また乾かす。

⁷ 使役接辞。通常は *kune* という形で記録されている。協力してくれた四人のコンサルタントの中、尤氏を除いて、他の三人の発音は[kunə]となっている。安(1986)や尤、傳(1987)で記述されている語形も *kune* となっている。本稿のコンサルタントである尤氏の発音では、*k* の後の母音 *u* がないように聞こえるため、*kne* と記す。方言差か個人差かは今後確認する必要がある。

- (19) maci orgi-mi... muke Saxtu simse-xe-ni.
 少し 乾かす・副動 水 皆 浸かる・過去・3sg.
 少し乾かして、水が全部浸み込んでいるからね。
- (20) tiki-yi-ni, anci da-m du-xe-ni.
 落ちる・形非・3sg. ない なる・副動 始める・過去・3sg.
 毛も全部落ちてなくなった。
- (21) ju nio jafu-rgi-re, nase-we-ni, em ba-du manne monjio
 二人 持つ・反復・副動 皮・対格・3sg. 一 ところ・与格 満遍なく 揉む
 二人で皮を持って一緒に揉む。
- (22) monjio-re, odi-re kunku-uyi.
 揉む・副動 終わる・副動 クンクでたたく・非人称
 揉み終わったらクンクで叩く。
- (23) si emdan, bi... ilan nio, em nio fexsi-kne-re,
 あなた 一回 私 三人 一人 転がる・使役・副動
 三人でやる。一人は皮を回す。
- (24) ju nio em (jo) emerge-du-n laNto jafu-re,
 二人 一 側・与格・3sg. 槌 持つ・副動
 もう二人の人はそれぞれ槌を持って、
- (25) bi emdan ti emdan kunku-uyi.
 私 一回 それ 一回 クンクでたたく・非人称
 私は一回、そっちも一回クンクでたたく。
- (26) kunku-medile=ken, ei-we, tate-medile=te
 クンクでたたく・副動=附属 これ・対格 引っ張る・副動=附属
 クンクで叩いてから引っ張ってから、
- (27) tucun-ji tucunle-uyi.
 トウチュン・道具格 削る・非人称
 トウチュンで削る。
- (28) tucun-m odi-re,
 トウチュン・副動 終わる・副動
 トウチュンで削ってから、
- (29) haide⁸ kedelexu-ji kedelexu-uyi.
 なければならない クドゥルク・道具格 クドゥルクで揉む・非人称
 クドゥルクで揉まなければならない。
- (30) kedelexu-uyi 是最后那遍的了, tucun 还是在 (这个抓脑子的那个) kunku-m 以后
 クドゥルクで揉むのは最後の工程、トウチュンはクンクで叩いた後、
- (31) xoi-modile amile-n=te kedelexu-ji kedelexu-uyi,
 削る・副動 後・3sg.=附属 クドゥルク・道具格 クドゥルクで揉む・非人称
 (トウチュンで) 削ってから、最後にクドゥルクで揉む。

⁸ 中国語「还得」, 「～しなければならない」の意

- (32) ai da-xa-ni, nase jiu ai da-xa-ni.
 よい なる・過去・3sg. 皮 すると よい なる・過去・3sg.
 これで皮ができた (なめし上がった)。

5.2. 獣肉の保存

5.2.1. あらすじ

鹿を獲ったら、皮を剥いで、太ももの厚い肉を鍋で茹でて、血を抜く。木でドウルクン⁹を作り、肉を一切れ一切れに切って、その上に置く。ドウルクンの下で火を焚いて肉を炙る。煙が出て、蠅も寄らないし、虫も湧かない。乾いたら、硬くてとてもおいしい。それを鹿の皮で作った袋に入れて、櫓に乗せて、家に持って帰る¹⁰。一袋一袋きちんと置いておいて、冬家族みんなで食べる。

5.2.2. 分析

- (1) kumake wa-re, ulse-we-ni, nase-we-ni bale-re,
 鹿 殺す・副動 肉・対格・3sg. 皮・対格・3sg. 剥ぐ・副動
 鹿を殺して、皮を剥いで、
- (2) ulse-ni, datur¹¹-ni ulse-ni, sagdi diramo-ni, ulse-we-ni=ten (orgi-uyi)
 肉・3sg. 太もも・3sg. 肉・3sg. 大きい 厚い・3sg. 肉・対格・3sg.=附属
 太ももの大きくて厚い肉を、
- (3) yuke-du xuyu-re, maci xuyu-re sekse-ni anci da-kne-re,
 鍋・与格 茹でる・副動 少し 茹でる・副動 血・3sg. ない なる・使役・副動
 鍋に入れて少し茹でて、血をなくして、
- (4) kioto-ji em silen em silen, kerci-re,
 ナイフ・道具格 — 切れ — 切れ 切る・副動
 ナイフで一切れ一切れに切って、
- (5) (derken-du,) derken-me ou-re,
 (ドウルクン・与格) ドウルクン・対格 作る・副動
 ドウルクンを作って、
- (6) xolon-du-ni sebere nede-re, orgi-uyi=ten.
 上・与格・3sg. 間隔が狭く 置く・副動 乾かす・非人称=附属
 (ドウルクンの) 上に間隔を狭く置いて乾かす。
- (7) xelegilen-ni tue jigji-uyi e.
 下・3sg. 火 燃やす・非人称 終
 下に火を起こす。
- (8) saNnin bi-ki-n=le, yonku¹² xolon-du-ni bake-Sen

⁹ ホジェン語名「derken」。魚や獣肉を干す四本足の木の棚。

¹⁰ 獲ったその場で、ドウルクンを作って火を起こして肉を乾かすことが多い。

¹¹ 中国語「大腿」、太ももの意。

¹² 蠅の語形は junku である。2005 年 3 月の確認によると、ここの yonku は junku の言い間違いであるという。

煙 ある・条件・3sg.=附属 蠅 上・与格・3sg. 得る・否非 3sg.
煙があると蠅が肉の上に止まらない。

(9)kuliaken ne·kne·Sen.

虫 する・使役・否非 3sg.
虫も出ない。

(10)kakkak amtenge da·kne·re,

硬く おいしい なる・使役・副動
硬くて(歯ごたえがあつて)おいしくなつて、

(11)teu·rgi·uyi, em sejin,fare.

入れる・反動・非人称 一 車 櫓
櫓の中に入れる。¹³

(12)ti kumake nase·ji·ni forgu ou·re, masi da·kne·re,

その 鹿 皮・道具格・3sg. 袋 作る・副動 丈夫 なる・使役・副動
鹿の皮で丈夫な袋を作つて、

(13)Saxtu jaloN teu·rgi·re, gaji·rgi·re,

皆 ぎっしり 入れる・反動・副動 持ってくる・反動・副動
(袋の中に)ぎっしり入れて持って帰つて、

(14)tuelin jefu·uyi e, tuelin jefu·kne nede·uyi e.

冬 食べる・非人称 終 冬 食べる・使役 置く・非人称 終
冬みんなに食べさせるのに置いておく。

(15)kumake tuile imexse·ni komso,

鹿 そのように 油・3sg. 少ない
鹿は油が少なくて、

(16)ai·ji orgi·re, ai·ji orgu·ren.

よい・道具格 乾かす・副動 よい・道具格 乾く・定非 3sg.
乾きやすい。

(17)orgu·ki·n=le, xoNna ne·Sen.

乾く・条件・3sg.=附属 黴 する・否非 3sg.
乾いたら黴も生えない。

(18)xun·ni hai anci da·re.

匂い・3sg. も ない なる・副動
匂いもなくなつて。

(19)saNnin·ji, tue jigji·re, saNnin nem fukia,

煙・道具格 火 燃やす・副動 煙 して 炙る
火を起こして煙で炙る。

(20)xolon·du·ni siuwun xelegiren tue nede·re=ken,

上・与格・3sg. 太陽 下 火 置く・副動=附属

¹³ 鹿を獲ったその場で、解体して、茹でて血を抜いて、ドゥルクンを作つて乾かす。出来上がった干し肉を櫓で家に持って帰る。

上に太陽があつて、下に火があつて、

- (21) tui ai da·ki·n=le, jog·dule gaji·rgi·ki·n=le,
 そのように よい なる・条件・3sg.=附属 家・向格 持って来る・反動・条件・3sg.=附属
 そうしてよくなったら、家に持ってきて、

- (22) jo nio·ni=de ai·ji em ba·du nede·re,
 家 人・3sg.=附属 よい・道具格 一 ところ・与格 置く・副動
 家の人も一つのところによく置いて、

- (23) em forgu, em forgu xerke·re, nede·yi·ni.
 一 袋 一 袋 結ぶ・副動 置く・形非・3sg.
 一袋一袋結んで置いておく。

- (24) taole isikili·du·yi sagdi, ai·ji jefu·yi baldi·uyi e.
 それ 小さい・与格・再帰 1sg. 大きい よい・道具格 食べる・形非 暮らす・非人称 終
 それを子供と大人がおいしく食べて暮らしていた。

5.3. 魚皮なめし

5.3.1. あらすじ

魚の皮をナイフで切り開いて、木のナイフで少しずつ剥ぐ。そうすると皮がやぶれない。剥いたら、日の下で乾かす。板に貼り付けてもいいし、ロープにかけてもいい。皮が乾いたら、腐った木の屑と一緒に包んで、グチク¹⁴でなめす。グチクでなめす時二人が必要である。一人は皮を動かして、もう一人はグチクを押してなめす。クンク¹⁵の場合は一人で行える。両足でハイルグンを押さえて、手にクンクを持って皮を叩く。皮がやわらかくなったら、包みを解いて、トゥチュンで皮の裏側の薄い膜を削り落とす。これでできあがり。それから、皮を裁って服を作る。昔糸がなかったとき、ノロジカの腱で糸を作って使っていた。

5.3.2. 分析

- (1) ei imaxa nase·we·ni oni bale·uyi,
 この 魚 皮・対格・3sg. どう 剥ぐ・非人称
 魚の皮はどう剥ぐ (かという)、
- (2) kioto·ji xoxto·uyi.
 ナイフ・道具格 裂く・非人称
 ナイフで皮を裂いて、
- (3) xoxto·medile, mo kioto·ji·ni kaole·uyi,
 裂く・副動 木 ナイフ・道具格・3sg. こじ起こす・非人称

¹⁴ ホジェン語名「gecku」、皮なめし具の一種。木製で、形は押切り状になっている。後に説明があるように、二人で作業を行う。魚皮を「鎌切」の間に置き、一人は座って、魚皮を押さえ、もう一人は立って、鎌切を押す。

¹⁵ ホジェン語名「kunku」、皮なめし具の一種。木製で、槌状。魚皮をたたいてなめす。通常は下に置く溝のある木製器具ハイルグン「xailegen」とセットになる。ハイルグンの溝に魚皮を入れ、安定させる。作業は一人で行われる。地面に座り、足でハイルグンを押さえ、クンクでたたく。ハイルグンには別の形状の物もある (註4を参照)。

裂いてから、木のナイフで剥ぐ。

- (4)eSke maci maci=ke kaole-uyi e,
 ゆっくり 少し 少し=附属 こじ起こす・非人称 終
 ゆっくり少しずつ剥ぐ。

- (5)kaole-kne-ki-n=le, nase ebdu-Sen.
 こじ起こす・使役・条件・3sg.=附属 皮 壊れる・否非 3sg.
 このように剥ぐと皮が破れない。

- (6)fortko-ni anci.
 穴・3sg. ない
 穴も開かない

- (7)tergele ou=de ai. tekbisi tui ne=ke=ten tergele ai.
 服 作る=附属 よい このような そうして する=附属=附属 服 よい
 こうして作った服もいい。

- (8)korto tate-m odi-m=du
 半分 引っ張る・副動 終わる・副動=附属
 皮を半分ずつ引っ張って (広げて) ¹⁶、

- (9)туру-le... siuwun niu-ki-n=le orgi-uyi e.
 外・向格 太陽 出る・条件・3sg.=附属 乾かす・非人称 終
 外に出して、太陽が出たら乾かす。

- (10)ordoxse=de ai e, xorkon=de ai, darmi=ke ba da=ke ai e.
 板=附属 よい 終 ロープ=附属 よい 広い=附属 ところ なる=附属 よい 終
 板でもいいし、ロープにかけてもいい。広いところで広げてもいい。

- (11)ta-du kali-kne-ki-n=le,
 そこ・与格 貼りつく・使役・条件・3sg.=附属
 そこ (板) に貼り付けたら、

- (12)siuwun niu-ki=le esitu orgu-re,
 太陽 出る・条件=附属 しばらく 乾く・副動
 太陽が出たらしばらく乾かして、

- (13)orgi-medile, bafule-uyi e.
 乾かす・副動 包む・非人称 終
 乾かしてから包む¹⁷。

- (14)bafule-medile ...jule dulan-ni utke, utke mo-ji nede-re,
 包む・副動 昔 中・3sg. 腐った 腐った 木・道具格 置く・副動
 包んでから、昔は中に腐った木の屑を入れていた。

- (15)bafule-re, gecku-ji geji-uyi e.
 包む・副動 グチク・道具格 グチクでなめす・非人称 終

¹⁶ 皮を剥ぐときに、魚の腹側に沿って、ナイフを入れ、魚を開いて尾の方から皮を剥いでいく。ここでの「半分」は半身分の皮のことを指している。ここでは半身ずつの皮を両側に引っ張って広げることを言おうとしている。

¹⁷ 布、麻袋、ビニールなどで包むという。

- 包んでグチクでなめす。
- (16)ju nio geji-uyi e, em nio mete-u·Sen.
 二 人 グチクでなめす・非人称 終 一 人 できる・非人称・否非 3sg.
 二人でなめす。一人ではできない。
- (17)emken ni sobgo-we xiowu-yi-ni,
 一 ね 皮・対格 引っくり返す・形非・3sg.
 一人は皮を引っくり返す。
- (18)em nio=ten digda-yi-ni e.
 一 人=附属 押さえる・形非・3sg. 終
 もう一人は押さえる。
- (19)kunku da·ki·n ni, em nio bafule-re,
 クンク なる・条件・3sg. ね 一 人 包む・副動
 クンクの場合は一人で包んで、
- (20)em nio jiu (kunku) xailegen-du-ni nede-re, kunku-uyi.
 一 人 すると ハイルグン・与格・3sg. 置く・副動 クンクで叩く・非人称
 一人で(皮を)ハイルグンに置いて、クンクで叩く。
- (21)begdele·ji fusukule·uyi, begdele·ji digda·uyi e.
 足・道具格 踏む・非人称 足・道具格 押さえる・非人称 終
 足で踏んで押さえる。
- (22)em begdele·ji emken·du,(中略) ju dewun·du-ni ju digda·uyi e.
 一 足・道具格 一・与格 二 端・与格・3sg. 二 押さえる・非人称 終
 一本の足で片端を押さえ、両足で両端を押さえる。
- (23) tui ne=ke=ten nase·we·ni ai da·xan.
 そのように する=附属=附属 皮・対格・3sg. よい なる・過去 3sg.
 そうして皮が出来上がる。
- (24)ai da·kne·re bafu Saxtu acu·rgi·re,
 よい なる・使役・副動 包み 皆 解く・反動・副動
 出来上がったら、包みを解いて、
- (25)tucun·ji imexse·ni tokon·du bi·si halapi...
 トウチュン・道具格 油・3sg. 真ん中・与格 ある・形非 ハラピー
 トウチュンで真ん中の油やハラピー¹⁸ (を削る)。
- (26)esixte·ni Saxtu kalia·xe·ni,
 鱗・3sg. みな つく・過去・3sg.
 鱗もみな付いていて、
- (27)tao Saxtu tucun·ji tucu·re, da·ki·n=le,
 それ 皆 トウチュン・道具格 トウチュンで削る・副動 なる・条件・3sg.=附属
 それをみなトウチュンで削ると、
- (28)nase jiu telem da·re,

¹⁸ 中国語「哈拉皮」、皮の裏側についている薄い膜のことである。ここでは、話者はホジェン語名が思い出せなくなって中国語で代用している。

皮 すると きちん と なる・副動

皮はきちんとなって、

(29)imexse-ni=de anci da-re,

油・3sg.=附属 ない なる・副動

油もなくなって、

(30)nemlin da-xan. ie-xen.

やわらかい なる・過去 3sg. 出来上がる・過去 3sg.

やわらかくなって出来上がる。

(31)tui ne=ke=ten tergele ou mete-uyi e.

そのように する=附属=附属 服 作る できる・非人称 終

そうすると服が作れる。

(32)xajile-re, eke sagdi nio sagdi-ji xajile-re,

ハサミで切る・副動 このように 大きい 人 大きい・道具格 ハサミで切る・副動

ハサミで切って、大人は大きく裁って、

(33)isikili xite-du isikili xajile-m ou-uyi.

小さい 子供・与格 小さい 挟みで切る・副動 作る・非人称

子供は小さく裁って作る。

(34)jule ulsi-yi-ni, sekte-n anci, jiu sumken-ji ulsi-yi-ni ha¹⁹?

昔 縫う・形非・3sg. 糸・3sg. ない すると 腱・道具格 縫う・形非・3sg. ね

昔縫う糸もなく、腱で縫っていたよね。

(35)giucin sumken-ji, ti=te sekte da-yi-ni,

ノロジカ 腱・道具格 それ=附属 糸 なる・形非・3sg.

ノロジカの腱を糸にして、

(36)ti... tui ulsi-yi-ni.

それ そのように 縫う・形非・3sg.

それで縫っていた。

5.4. 魚の保存

5.4.1. あらすじ

我々ホジェン人は魚を食べて、魚を着る。魚を保存するときどうするかというと、二通りの方法がある。一つの方法は、デンプを作る²⁰。デンプを炒めたらボヨホに入れて保存する。ボヨホの作り方とは、柳の枝で籠を編んで、チョウザメなどの魚の浮き袋を籠にはめて乾かすのである。もう一つの方法は、干し魚を作る。チョウザメ、サカナ²¹、ファイジ²²などの大きい魚を干して保存する。一束一束に束ねて、倉庫（タフトウ）に入れて、冬何も働かなくても食べ物がたくさんある。家族みんなでそれを食べる。

¹⁹ 中国語「哈」、確認を表す終助詞。ここでは、同席して話を聞いている奥さんに確認を取っている。

²⁰ 魚をぶつ切りにして、鍋で乾煎りした食糧。

²¹ 中国語名「哲羅」。黒龍江あたりにいる魚。

²² 中国語名「怀头」。黒龍江あたりにいる魚。

5.4.2. 分析

- (1) *beti nanio-ni imaxa-we waxci-m imaxa-we jefu-uyi.*
 私たち ホジェン人・3sg. 魚・対格 捕る・副動 魚・対格 食べる・非人称
 私達ホジェン人は魚を捕って、魚を食べる。
- (2) *jefu-yi-du-yi oni nede-uyi.*
 食べる・形非・与格・再帰 sg. どう 置く・非人称
 食べる時どう置く（保存する）のか。
- (3) *nede-uyi beti haidei ai-ji=ken,*
 置く・非人称 私たち なければならない よい・道具格=附属
 置くときはよく置いて、
- (4) *tuelin jifu-uyi, jualin jefu-uyi=de ju xacen nede-uyi.*
 冬 食べる・非人称 夏 食べる・非人称=附属 二 通り 置く・非人称
 冬にも食べ、夏にも食べるのだ。二通り保存するのだ。
- (5) *em xacen ne, tasken taske-uyi.*
 一 通り ね デンプ デンプを炒める・非人称
 一通りはね、デンプを炒める。
- (6) *taske-re burxa-ji kuangzi²³-we ou-re,*
 デンプを炒める・副動 柳・道具格 籠・対格 作る・副動
 デンプを炒めて、柳の枝で籠を作って、
- (7) *xuaiji ajen fuka-ji-ni furgi-re orgu-kne-re*
 ファイジ チョウザメ 浮き袋・道具格・3sg. 吹く・副動 乾く・使役・副動
 ファイジやチョウザメの浮き袋を膨らまして、乾かして、
- (8) *ta-ji=te boyoxo ou-uyi.*
 それ・道具格=附属 ボヨホ 作る・非人称
 それでボヨホを作る。
- (9) *boyoxo ou-medile ti dulan-ni tasxen imexse-ni, tasken-me,*
 ボヨホ 作る・副動 その 中・3sg. デンプ 油・3sg. デンプ・対格
 ボヨホを作ってから、その中にデンプとデンプの油を、
- (10) *Saxtu ti dulan-ni man teu-uyi.*
 皆 その 中・3sg. いっぱい 入れる・非人称
 みんなそのなかに入れる。
- (11) *ti fuka-ji-ni furgi-ki=le sagdi da-re,*
 その 浮き袋・道具格・3sg. 吹く・条件=附属 大きい なる・副動
 浮き袋を吹くと大きくなって、
- (12) *sagdi da-ki-n=le orgu-xe-ni.*
 大きい なる・条件・3sg.=附属 乾く・過去・3sg.
 大きくなって、乾かす。
- (13) *orgu-kne-re ta-du dulan teu-rgi-re,*

²³ 中国語「筐子」,「籠」の意。

乾く・使役・副動 そこ・与格 中 入れる・反動・副動

乾かしてから、その中に入れる。

(14) *tuelin yao=de ne-Sen=de jefuku molxoN da-xa-ni.*

冬 何=附属 する・否非 3sg.=附属 食べ物 たくさん なる・過去・3sg.

冬何もしなくても、食べ物がたくさんある。

(15) *em arNeni duyun sunja bia dulan-ni nian-me-ni jefu-kne.*

一 年 四 五 月 中・3sg. 彼・対格・3sg. 食べる・使役

一年中四五ヶ月ぐらいそれを食べる。

(16) *berki nede-uyi.*

きちんと 置く・非人称

きちんと置いておくのだ。

(17) *sagdi imaxa-we-ni ajen sakane-we xuaiji-we orxoci-uyi.*

大きい 魚・対格・3sg. チョウザメ サカナ・対格 ファイジ・対格 干し魚を干す・非人称

大きい魚、チョウザメ、サカナ、ファイジなどは干し魚にする。

(18) *orgi-re taktaken orku-kne-re,*

乾かす・副動 硬く 乾く・使役・副動

硬く乾かして、

(19) *em kortko em kortko xerke-uyi.*

一 束 一 束 結ぶ・非人称

一束一束に束ねる。

(20) *xerke-medile taxtu-du teu-re, taxtu-du teu-rgi-uyi.*

結ぶ・副動 倉庫・与格 入れる・副動 倉庫・与格 入れる・反動・非人称

束ねてから倉庫に入れる。

(21) *beti taxtu imaxa-we Soxocko-ni teu-uyi, taxtu (taxtu) dulan-ni.*

私たち 倉庫 魚・対格 干し魚・3sg. 入れる・非人称 倉庫 中・3sg.

我々は干し魚を倉庫の中に入れる。

(22) *beti jo nio-ni duyun sunja*

私たち 家 人・3sg. 四 五

家族四五人、

(23) *beti ei tuelin molxoN jefu-uyi da-ki-ni*

私たち この 冬 たくさん 食べる・非人称 なる・条件・3sg.

我々は冬たくさん食べると

(24) *neng²⁴ jefu-m odi-uyi.*

できる 食べる・副動 終わる・非人称

(全部) 食べきれる。

(25) *tek(sam) men=de xerbe-du-yi Saxtu sulao-re, sa-uyi.*

このように 自分=附属 持っていく・与格・再帰 sg. みな 残る・副動 知る・非人称

自分で持っていくときに残りを見て分かる。

²⁴ 中国語「能」、「できる」を意味する。

(26)tekci molxoN nede·rgi=te isi·ren=de.

このように たくさん 置く・反動=附属 足りる・定非 3sg.=附属
このぐらい置けば、足りる。

(27)taxtu ou·re, dulan·ni nede·rgi·uyi.

倉庫 作る・副動 中·3sg. 置く・反動·非人称
(我々は) 倉庫を作って、中に置く。

(28)oxocu jalun teu·rgi·uyi.

干し魚 いっぱい 入れる・反動·非人称
干し魚をいっぱい入れる。

(29)emken bia liase jefu·uyi.

一 月 丸ごと 食べる·非人称
丸一ヶ月食べる²⁵。

(30)yao=de ne·Sen=de (jefuko=de) jemu·Sen.

何=附属 する·否非 3sg.=附属 お腹がすく·否非 3sg.
何もしなくてもお腹がすかない。

(31)isikili sagdi nio tao·we jefu·m baldi·uyi.

小さい 大きい 人 それ·対格 食べる·副動 暮らす·非人称
子供や大人達はそれをよく食べて暮らしていた。

(り・りんせい 本学研究科博士後期課程)

参考文献

- 刘忠波 1981 『赫哲人』(民族出版社)
安俊 1986 『赫哲语简志』(民族出版社)
尤志贤、傅万金 1987 『简明赫哲语汉语对照读本』(黒龍江省民族研究所)
徐世璇 2001 『濒危语言研究』(中央人民出版社)
北海道立北方民族博物館編 1998 『北海道立北方民族博物館資料目録2 A.V. スモリャーク氏寄贈資料
目録〜ニブフ・オロチ・ウリチ・ナーナイ』

²⁵ (15) で言った「四五ヶ月食べる」と矛盾しているが、さらに確認を行う必要がある。